



大島出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 大島出張所



【定点把握疾患】2025年 第49週（12月1日～12月7日）

大島・・・感染性胃腸炎 1件
インフルエンザ 19件
急性呼吸器感染症（ARI）※ 40件
利島・・・なし
新島・・・インフルエンザ 5件
式根島・・・なし
神津島・・・インフルエンザ 2件

※呼吸器感染症（ARI）の報告対象は「大島のみ」です。

【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター 第48週（11月24日～11月30日）

- ・東京都におけるインフルエンザの定点当たり報告数は 35.76(前週 51.69)と先週より減少していますが、依然として警報基準を上回っています。
- ・大島出張所管内でも、インフルエンザ報告数は減少していますが、引き続き注意をしてください。

今週のコメント

『麻しん』に注意しましょう！

出典：保健医療局

東京都では、令和7年12月2日までに31件の麻しん患者（検査診断例）の発生がありました。過去10年間で2番目に多い状況です。感染する経路はさまざまですが、感染力が非常に強いのが特徴です。

例①症状のある期間に来店した他県の患者に対しカウンター越しに接触した担当者が感染した。

例②東南アジアの国のボランティア活動に参加して帰国後に発症した。

麻しんの症状等

参照：東京都感染症情報センターホームページ・国立感染症研究所ホームページ
厚生労働省事務連絡（R6.2.26）

- 症状
- ・10～12日間の潜伏期間の後、38℃程度の発熱及びかぜ症状（咳、鼻水、目の充血等）が2～4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発しんが出現
 - ・主な症状は、発熱・発しんの他、咳、鼻水、目の充血など
 - ・通常は7～10日で回復するが、肺炎、脳炎等の重い合併症を発症する場合あり
- 感染経路
- ・空気感染、飛沫感染、接触感染（ヒトからヒトへ感染が伝播）
 - ・感染力は極めて強く、免疫を持たない人はほぼ100%感染
 - ・感染した人の90%以上が発症
 - ※ 感染力が最も強いのは発しん出現前の期間

麻しんは予防接種で防げる病気であり、
ワクチン接種は個人でできる有効な予防策です！

・ワクチンの2回接種で約99%の人が抗体を保有し、免疫を持続させることができる

定期予防接種の対象者

- 第1期 1歳以上2歳未満
- 第2期 5歳以上7歳未満で小学校入学前1年間（いわゆる幼稚園・保育園の年長児）

・いずれも、MRワクチンを1回接種
・接種券は区市町村から送付されます

お住いの区市町村に
お問い合わせください



接種歴を確認のうえ、抗体検査・ワクチン接種の
検討をお願いします。検査で抗体のない方は、ワクチンの再
接種が可能です（自費）。

麻しん（はしか）・風しんワクチン

合計2回の

ワクチン接種を
忘れずに受けましょう

1歳に
なったら
まず1回

小学校
入学前に
もう1回

1回目は1歳になってから2歳になるまで
2回目は小学校入学前の1年間で

それぞれ接種をお願いします。

なぜ、予防接種が必要なの…？

麻しん（はしか）及び風しんを予防するためには、予防接種が最も有効な方法だからです。
例えば、麻しんは感染力が強く空気感染もするので、手洗い・マスクのみでは予防できません。
1回の予防接種では免疫がつかない人もいます。2回の接種が大切です。

各地で麻しんが発生しています。予防接種は早めに！



麻しん
（はしか）とは
症状が現れた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。非常に感染力の強い感染症です。肺炎や中耳炎を合併しやすく、重症化すると脳炎や脳脊髄膜炎を合併する恐れがあります。人の間で伝染しやすいと知られ、生じやすい病気です。



風しん
とは
発熱や発疹、リンパ節の腫れなどが現れる感染症です。合併症として、脳炎や肝臓障害を起すことがあります。また、妊娠初期に感染すると胎児が流産したほか、高い確率で先天性に先天性の障害が生じることがあります。

お子さまの健康が気になるときだからこそ、予防接種は計画的に受けましょう。
麻しん（はしか）・風しんの接種については、裏面記載の窓口にお尋ねください。

東京都保健医療局 東京都医師会 健康保険組合連合会東京連合会

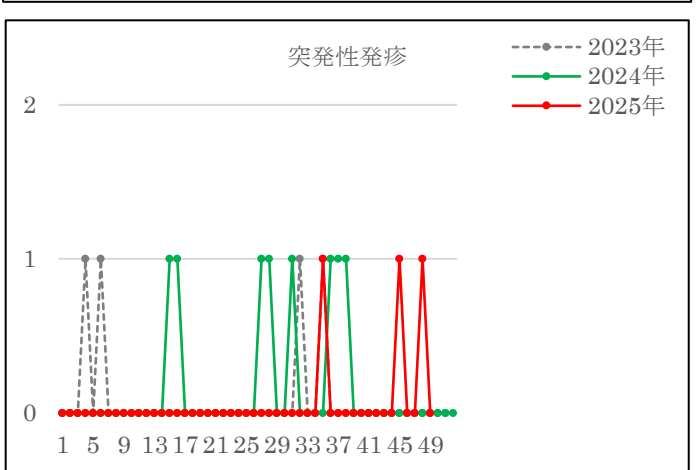
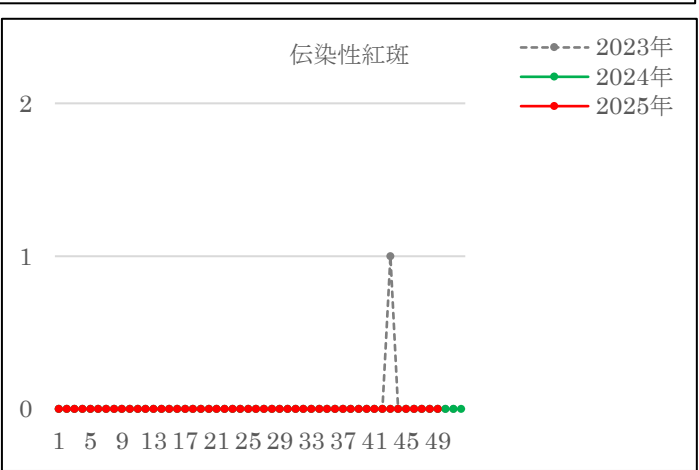
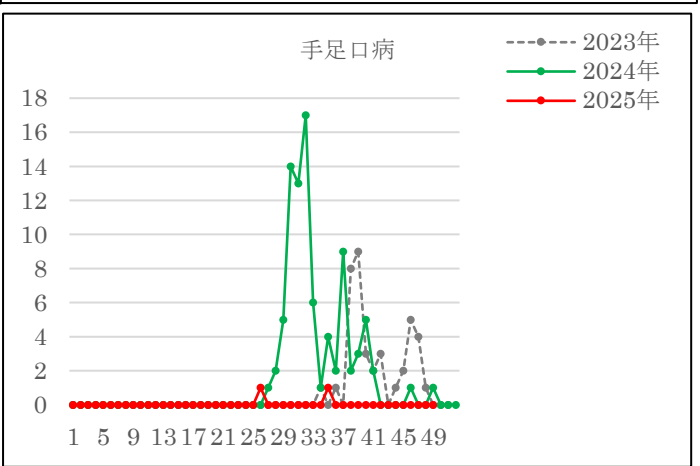
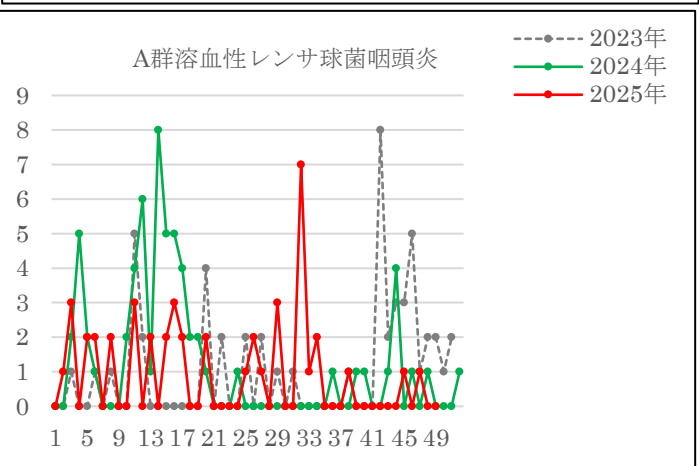
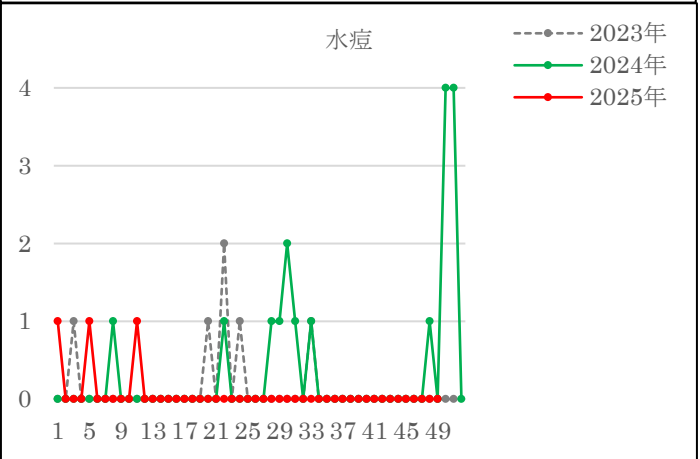
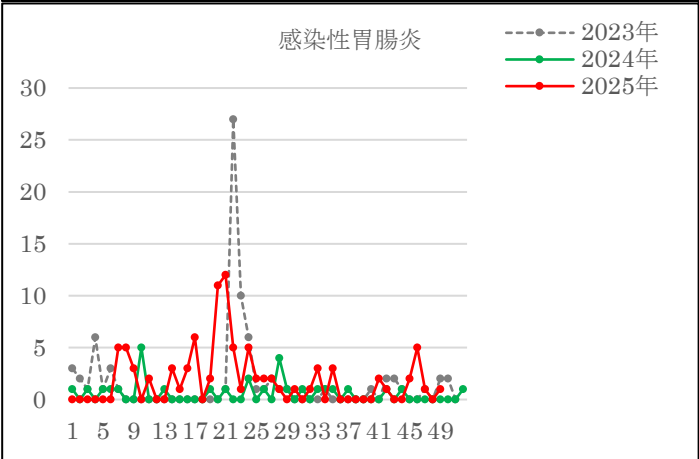
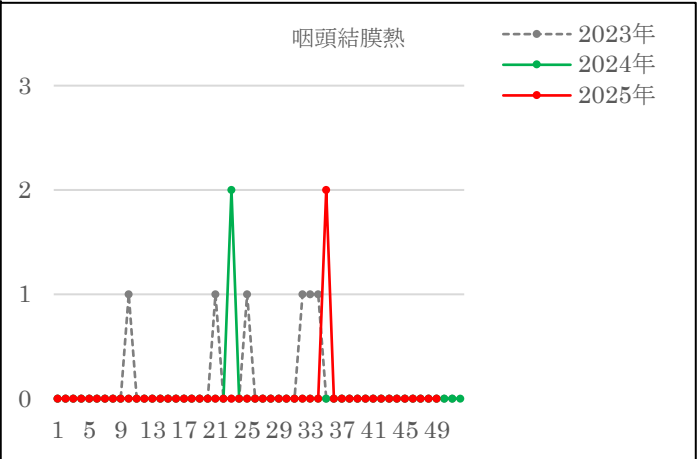
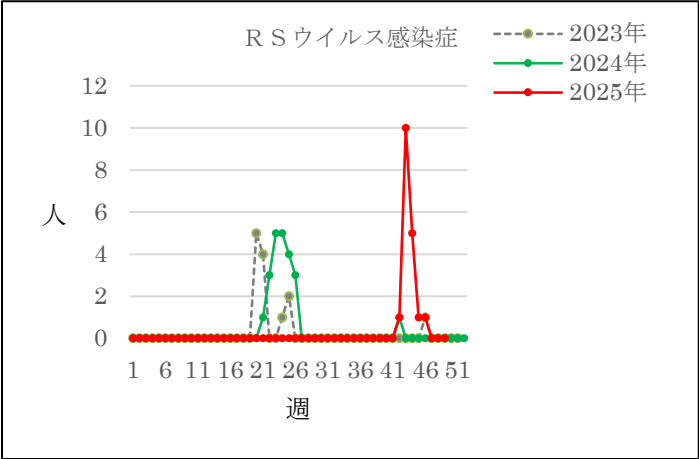
島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

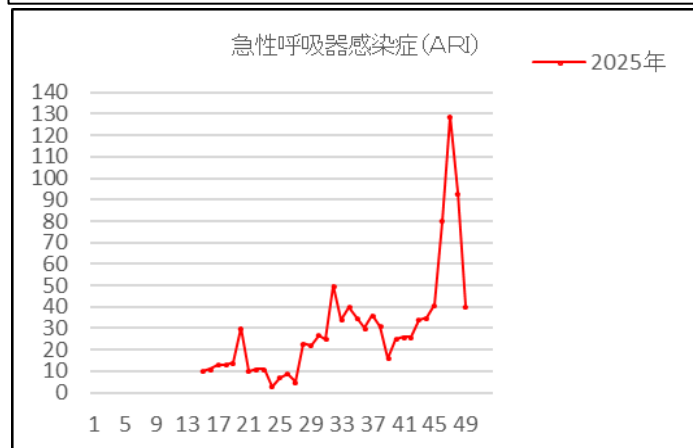
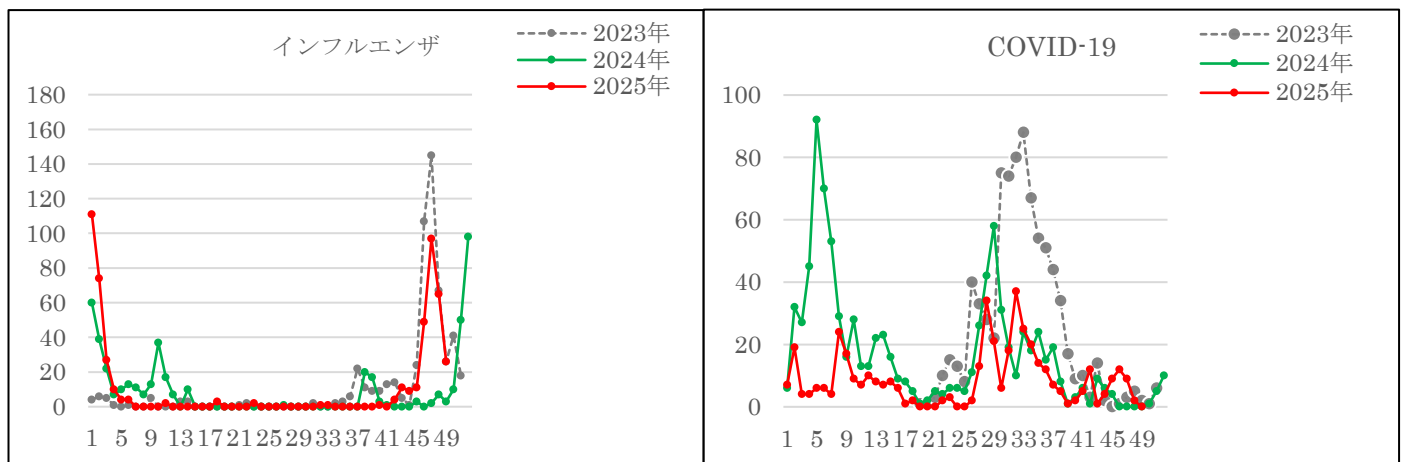
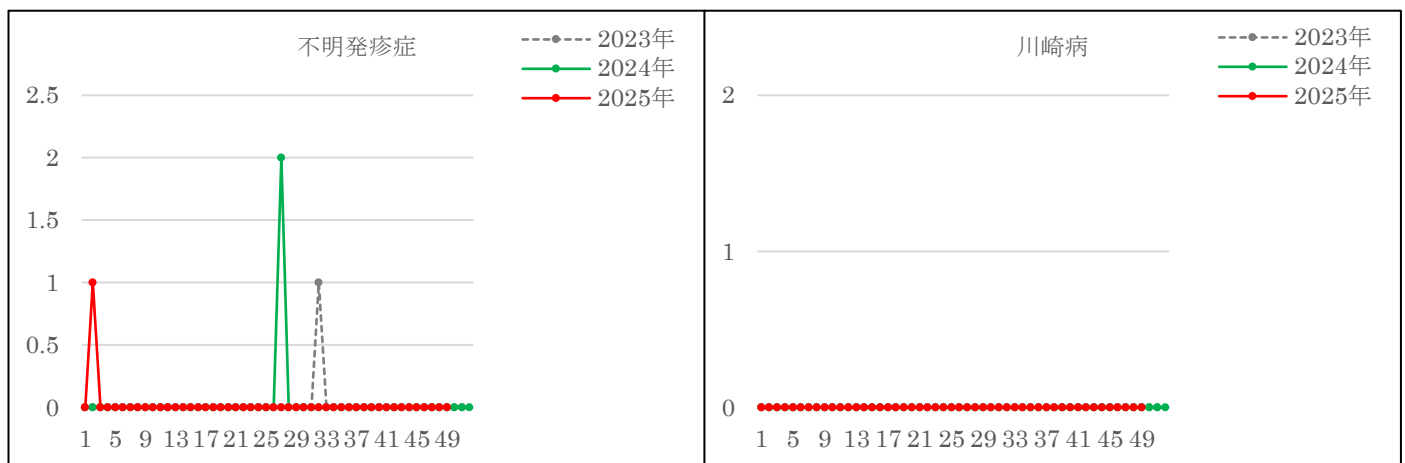
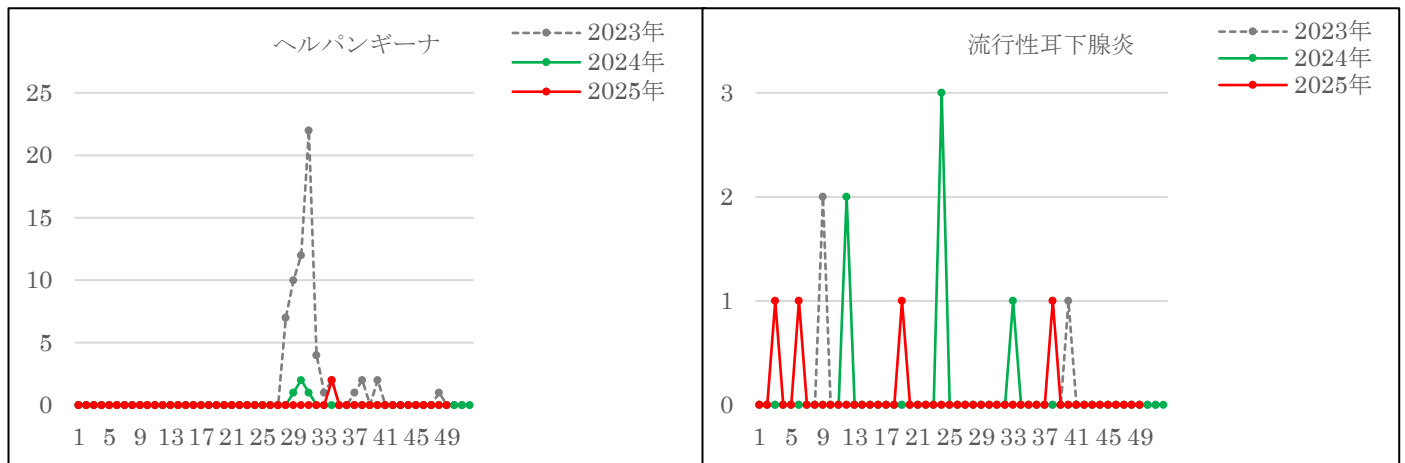
※大島出張所管内、東京都（全域）、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

○大島出張所管内⇒島しょ保健所大島出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/oshima/index.html>

○東京都（全域）⇒Web版感染症発生動向（東京都感染症情報センター）<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp>

○全国⇒国立健康危機管理研究機構（感染症情報提供サイト）<https://id-info.jih.go.jp/surveillance/idwr/index.html>





※感染症発生動向調査は、感染症法に基づき発生状況を把握・分析し情報提供をすることにより、感染症発生およびまん延を防止することにあります。

大島では、大島医療センターが小児科定点・疑似症定点に指定されており、医師の診断に基づき集計しています。また、大島出張所管内では、協力届出医療機関として利島村診療所・新島村本村診療所・新島村式根島診療所・神津島村診療所の医師より報告を受けた人数を計上しています。

<編集・発行>

東京都島しょ保健所大島出張所 電話:04992-2-1436 FAX:04992-2-1740
 新島支所 電話:04992-5-1600 FAX:04992-5-1649
 神津島支所 電話:04992-8-0880 FAX:04992-8-0882

